

「健康都市」実現へ議論

まちかつ弘前
キューブシー
懇談会で状況確認



人と街の健康づくりに取り組む「健康都市弘前」の実現に向け、弘前市と弘前大学が立ち上げた「まちかつ弘前₃C（キューブシー）」の定期懇談会が2日、市役所で開かれた。市や弘大COIネクストの関係者らが、これまでの懇談会の

アイディアをきっかけに実践してきた取り組みについて状況を確認し、議論を交わした。

今年度2回目となる懇談会には、弘前大学の中路重之学長特別補佐、弘大COIネクストの村下公一拠点長、桜田宏市長、出崎和夫副市長らが出席。

市の担当者は、健康都市弘前の実現を目指した学校へのベジチェックの設置や、空き店舗を活用したQOL健診の実施、健康づくり応援人材育成事業などの取り組みについて説明し

た。中路学長特別補佐は健康都市弘前の全体像を解説しながら、QOL健診の役割などを強調。出席者からは「弘前はQOL健診発祥の地。健康都市弘前の目玉として普及させてはどう

か」といった提案があった。桜田市長は「QOL健診は自分の健康状態を知る上で非常に重要。自治体として大学と一緒に取り組んでいきたい」と述べた。

（成田真由美）